

(令和3年12月10日現在)

1. 地域における技能振興事業

事業実施状況

(1) 技能五輪全国大会予選の実施等

① 技能五輪全国大会の予選の実施

若年者の技能向上を図るため、技能競技大会への参加や上位入賞など目標を掲げる事で、より一層の効果が期待できるものとし、多くの企業・教育訓練機関に対して予選会への参加について働きかけを行う。

No	職種	選手	実施日
1	電気溶接	8人	令和4年2月4日
2	電工	1人	令和4年2月3日
3	プラスチック金型	6人	調整中
	3職種	15人	

※ 当初、2職種（電気溶接・電工）の実施を計画していたが、急遽1職種（プラスチック金型）の実施が必要となったため追加を予定している。

② 各種競技大会への参加支援の実施

技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加を促進するため、中小企業・教育訓練機関等に所属する参加選手と指導者の旅費と工具等の運搬について援助を行い、若年技能者の大会参加を支援する。

(ア) 技能五輪全国大会への援助

○第59回技能五輪全国大会（令和3年12月17日～20日・東京都で開催予定）

支援対象（予定）

No	職種	選手	指導者	所属
1	旋盤	1人	1人	科学技術学園高校日立
2	電気溶接	2人	2人	
3	建築大工	1人	1人	結城地区建設高等訓練校
4	造園	1人	1人	(株)大平造園土木
	4職種	5人	5人	

(イ) 若年者ものづくり競技大会への援助

○第16回若年者ものづくり競技大会（令和3年8月4日～5日・愛媛県で開催）

支援対象

No	職種	選手	指導者	所属
1	メカトロニクス	2人	1人	県立筑西産業技術専門学院
		2人	2人	科学技術学園高校日立
2	建築大工	1人	-	県立水戸産業技術専門学院
3	電気工事	1人	1人	県立玉造工業高等学校
	3職種	6人	4人	

(2)ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み

① 技能競技大会展の実施

② 技能士展の実施

地域ブロック単位での開催が計画され、今回は東京都において技能五輪全国大会との併催が予定されている。(①②共通)

③「地域発！いいもの」応援事業の実施

④ グッドスキルマーク事業の実施

ホームページ・Facebook や関係団体に対して資料を送付するなど広く情報発信を行い、募集内容等の周知を行った。(③④共通)

⑤ 卓越した技能者の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援

社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職する事を促進するため、茨城県内における卓越した技能者（現代の名工）の被表彰者の取材を行い、中央技能振興センターが運営するサイト「技のとびら・現代の名工 Navi」に掲載されるコンテンツの作成支援を行う。

	被表彰者数	掲載予定日
令和2年度	5人	令和3年12月3日
令和3年度	7人	令和4年3月中旬

2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務

事業実施状況

(1)ものづくりマイスター等の開拓

ものづくりマイスター、ITマスターの候補者について情報収集を行う。当協会の会員企業等に制度の周知を行い、定年退職者及び早期退職者などものづくりマイスター等として活動が望める方の情報収集など、ネットワークを活用した開拓を進める。厚生労働省により各種目標が定められており、令和3年度は現在までに目標を達成している。

① ものづくりマイスターの登録 目標値 延べ12人以上

業種	令和3年度	令和2年度まで	延べ認定者数
縫製・食品関係	-	24人	24人
建設・木工関係	9人	166人	175人
機械・電子・電気関係	10人	124人	134人
合計	19人	314人	333人

(令和4年3月までの見込みを含む)

② ITマスターの登録 目標値 延べ4人以上

業種	令和3年度	令和2年度まで	延べ認定者数
ウェブデザイン	1人	7人	8人
ITネットワークシステム管理	2人	18人	20人
業務用ITソフトウェア・ソリューションズ*	2人	17人	19人
ロボットソフト組込	2人	17人	19人
合計	7人	59人	66人

(2)ものづくりマイスター等に対する研修

新たに登録されたものづくりマイスター等に対して、実技指導結果報告の作成方法等の事務、指導における個人情報保護・各種ハラスメントの防止・若年者等との接遇に関する知識付与等も含めた指導技法等講習を行う。ただし、職業訓練指導員免許を有している方は受講を免除する事が出来る。

開催状況

	ものづくりマイスター	I Tマスター
1回目	4月22日・6人	11月17日・1人
2回目	7月26日・2人	12月8日・1人

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務

事業実施状況

(1)若年技能者の人材育成に係る相談・援助

人材育成支援開拓員を配置し、これまで事業を利用した事が無い県内の中小企業を訪問の上、事業内容の説明を行うことにより、新たな派遣先の開拓を進める。

○ 開拓員の活動 年間18日程度を予定

	4月分	7月分	10月分	11月分	12月分	2月分	合計
訪問数	1団体	1団体	13社・2団体	12社	2社	1団体	27社・5団体
活動日数	1日	1日	5日	8日	2日	1日	18日

(令和4年3月までの実施見込みを含む)

(2)ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施

派遣先から要請を受けた内容について、そのニーズに対応できる最適なものづくりマイスター等を選定し、技能競技大会の競技課題や技能検定試験の実技試験問題などを用いた実技指導を行う。

① ものづくりマイスターによる実技指導 目標値 延べ受講者数4,088人以上

	派遣数	職種数	延べ派遣者数	延べ受講者数
中小企業等	21社・1団体	11職種	189人	372人
工業高校等	18校	18職種	570人	4,675人
合計			759人	5,047人

(令和4年3月までの実施見込みを含む)

② I Tマスターによる実技指導 目標値 延べ受講者数271人以上

	派遣数	職種数	延べ派遣者数	延べ受講者数
中小企業	2社	2職種	40人	40人
工業高校	2校	3職種	46人	552人
合計			86人	592人

(令和4年3月までの実施見込みを含む)

(3)「目指せマイスター」プロジェクト

① ものづくりの魅力発信

※ コロナ禍の影響で令和2年度に生徒の体験が実施出来なかった学校があり、今年度実施予定。その為、通常(ア)と(イ)の派遣数は同数になるが、今年度は(ア)の派遣数が(イ)の派遣数よりも1校多くなっている。

(ア) 学校の授業等への講師派遣（児童・生徒対象）

将来の進路決定及び職業選択の際に、全く知らない職業への道は開かれておらず、その選択の一助となる事を目的に児童生徒を対象に職業観の講話などを含めたものづくり体験教室を実施する。

	派遣数	職種数	延べ派遣者数	延べ受講者数
中学校	3校	5職種	66人	238人

（令和4年3月までの実施見込みを含む）

(イ) 学校の教師、児童生徒の保護者を対象とした「ものづくりの魅力」講座等への講師派遣

ものづくり産業への理解を深めてもらうため、(ア)の派遣先の教師や保護者を対象にマイスターの話の聞き、体験してもらう機会を設ける事を目的に実施する。

	派遣数	職種数	延べ派遣者数	延べ受講者数
中学校	2校	5職種	7人	7人

（令和4年3月までの実施見込みを含む）

② ITの魅力発信

論理的に考える機会や将来の職業選択をする際にIT関連分野への誘導を図ることが出来るよう、情報技術に関する興味の喚起及び情報技術を使いこなす職業能力の付与を目的に実施する。

	派遣数	職種数	延べ派遣者数	延べ受講者数
小学校	1校	1職種	4人	141人

③ 若者に対するものづくりの魅力発信

サポステ事業の支援対象者は様々な要因を抱えている若者が多く配慮が必要であるため、県内のサポートステーションと連携を図り有効活用が見込まれる場合は、積極的に検討・協力を行うが、相談依頼がなかったため実施なし。

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

事業実施状況

(1) 連携会議の設置

本事業の効果的な実施、さらに関係者の取り組みによる相乗効果を図ることを目的に連携会議を設置し、次の団体の代表者を委員として委嘱し、相互協力を図る。

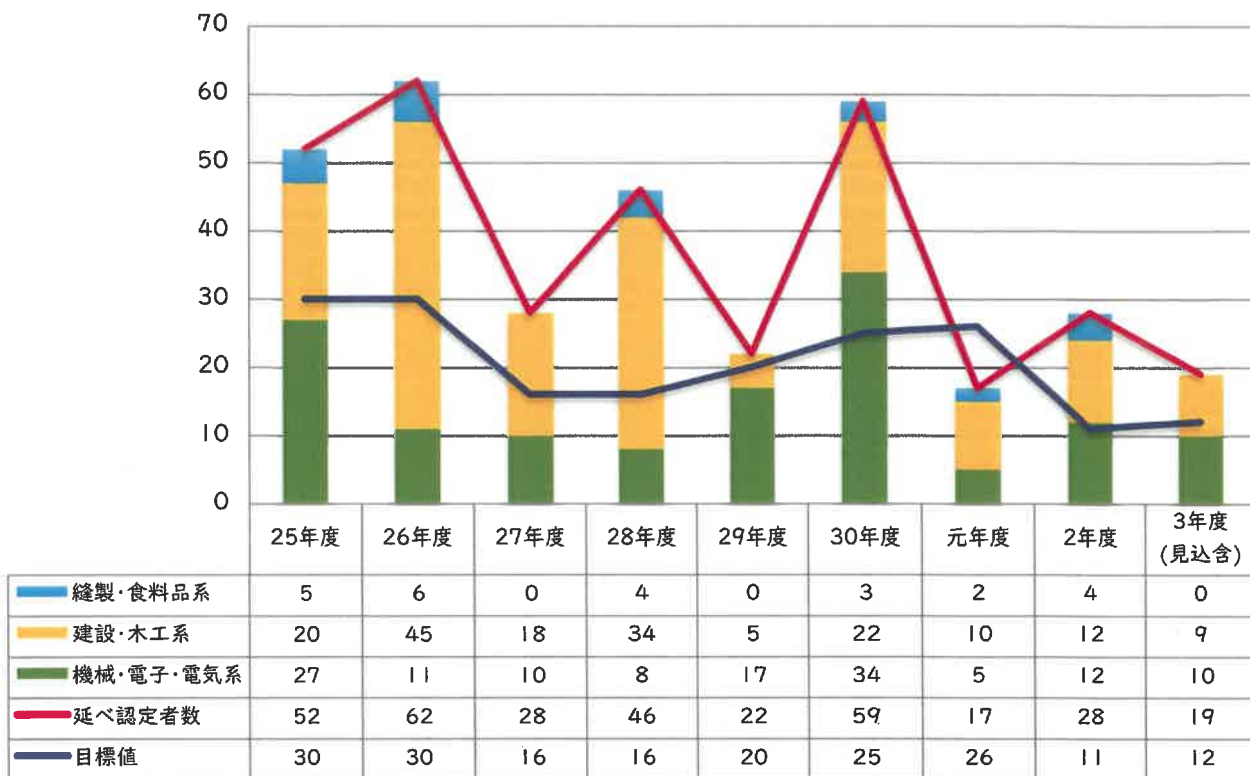
- ・一般社団法人茨城県経営者協会
- ・茨城県中小企業団体中央会
- ・公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構
- ・茨城県商工会議所連合会
- ・茨城県商工会連合会
- ・茨城県技能士会連合会
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構茨城支部
- ・茨城県産業戦略部労働政策課
- ・茨城県教育庁高校教育課
- ・茨城県教育庁義務教育課
- ・茨城県職業能力開発協会

(2) 連携会議の開催回数

	1回目	2回目
時期	令和3年6月	令和3年12月
内容	令和3年度推進計画の決定	令和3年度の事業実施状況等の報告
状況	新型コロナウイルス感染予防のため、資料送付により委員11人の同意を頂き、推進計画を決定した。	新型コロナウイルス感染予防のため、集合形式を取り止め、資料送付により対応する。

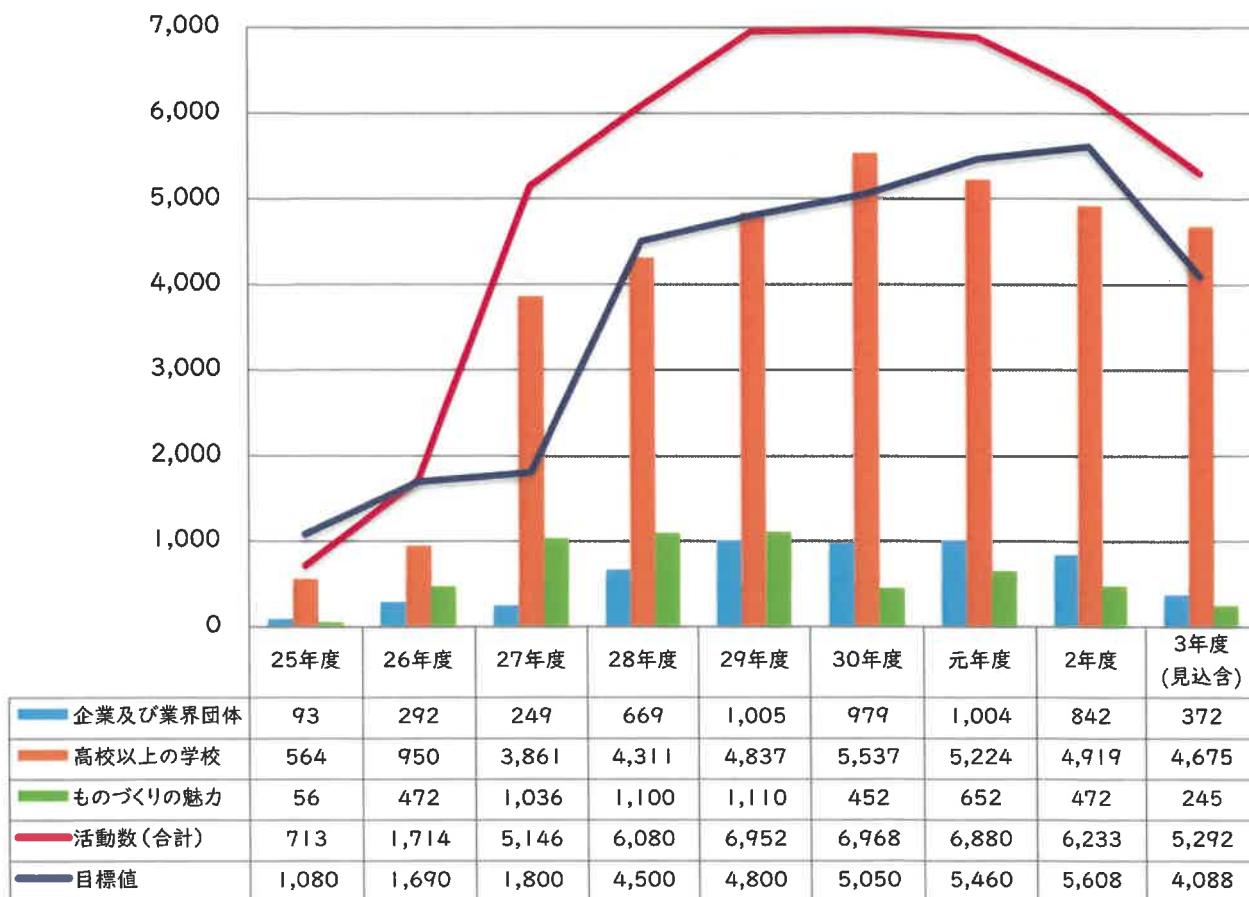
5. ものづくりマイスター実績推移について（平成25年度～令和3年度）

ものづくりマイスター認定者数



(単位:名)

ものづくりマイスター活動数



(単位:人日)

6. ものづくりマイスター派遣に関する対前年度比較

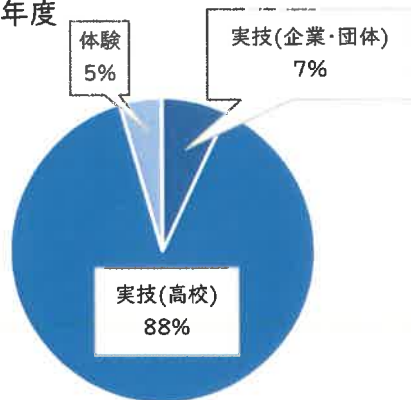
※令和3年度は見込みを含む

(1) ものづくりマイスター派遣先別受講者数

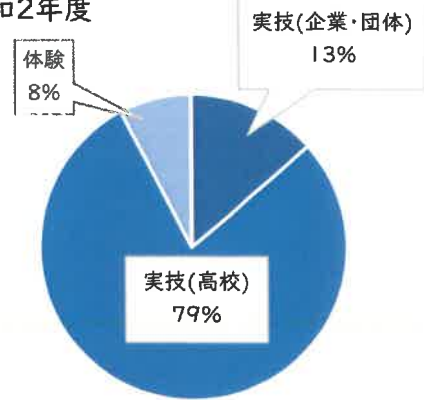
令和3年度の受講者数は、全体的に減少しているが、特に「実技(企業・団体)」、「体験」については、令和2年度の約半数まで減少した

	実技(企業・団体)	実技(高校)	体験	合計
令和3年度 受講者数	372人	4,675人	245人	5,292人
令和2年度 受講者数	842人	4,919人	472人	6,233人

令和3年度



令和2年度

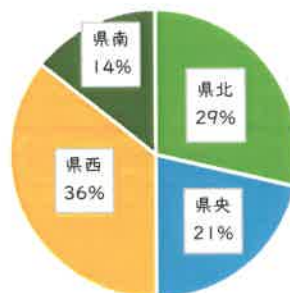


(2) ものづくりマイスター地域区分別派遣状況 (企業・団体)

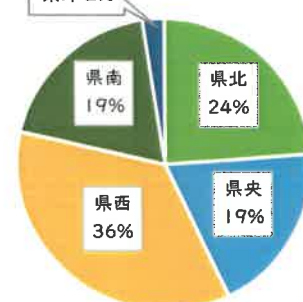
	令和3年度	令和2年度
県北	8件	10件
県央	6件	8件
県西	10件	15件
県南	4件	8件
鹿行	0件	0件
県外	0件	1件
	28件	42件

令和3年度の地域区分別の派遣の割合は、どの地域も令和2年度と同程度で、県西地区への派遣が4割近くを占める

令和3年度



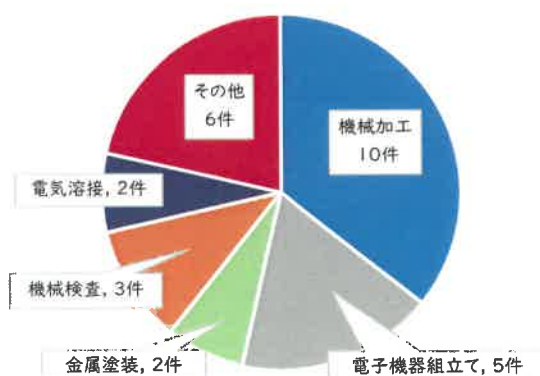
令和2年度



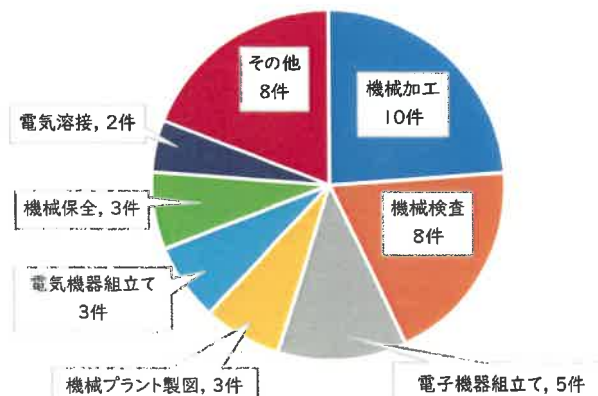
(3) ものづくりマイスター職種別派遣状況 (企業・団体)

令和3年度の職種別の派遣について、機械加工職種・電子機器組立て職種は令和2年度と変わらず指導希望があったが、それ以外の職種については技能検定受検申請の状況により変動している

令和3年度



令和2年度



7. ITマスター実績推移について（平成29年度～令和3年度）

